

ぶ(霊水と共に

発行 法華寺

No.17

2022.3

河南町加納 247

☎0721933023

まいてら法華寺

検索

寄り添いの寺 法華寺

検索

四月 開山忌法要に向けて

法華寺の開基は室町時代の高僧、日隆聖人ですが。聖人は『本因下種(ほんにんげしゆ)の南無妙法蓮華経』と声高らかにお題目を唱えられました。「本因」とは悟りを開くための修行であり、「下種」とは、それを種(タネ)として心にいただくことです。

つまり、末法を生きる我々は、仏に至るまでの修行として「南無妙法蓮華経」を唱えることが大切であり、そのお題目には「成仏の種」が備わっているということです。

それ故、日隆聖人は、その合唱の手を下に向けて、前に立つ我々の心に、「悟りの種」を送ろうとくださっておられるのです。



境内の銅像



水原堂のご尊像

四月の開山忌はコロナ禍の影響で、この二年参拝者無しの形でしたが、今春は是非、皆様と共に勤めたいと思っております。

※法要は、第一座目は午前十一時から、第二座目は午後一時から。人数を制限し、間隔を取り、本堂にお入りいただきます。四月初旬までに郵送で、ご希望を取り、午前と午後の時間を指定させていただきます。初めて参加希望される方は、お寺にご一報ご連絡ください。

※昼食は、巻き寿司をご用意しております。客殿でお召し上がりいただいても、お持ち帰りいただいても、どちらでも結構です。

※お車でお越しの方は、例年通り「村東の重機置き場」からタクシー送迎があります。金剛バスご利用の方も、平石線北加納バス停からタクシーご利用ください。



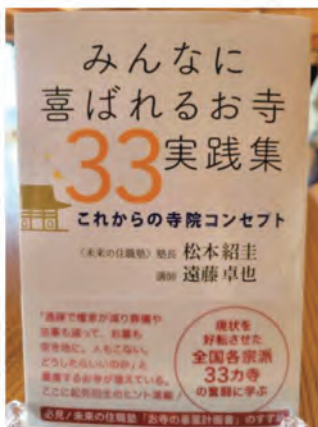
送迎タクシーご利用下さい

當山の実践が紹介されました

宗教離れ・仏教離れ、と言われる昨今です。しかし、悩み深い世相の中、老若問わず「仏教・お寺」に癒しや救いを求める人々も少なくありません。

その要求に応えようと、たくさんのお寺が色々な実践をしておられます。お寺の価値を見直し、また、宗派を越えて活動しているお寺の実践をまとめた書籍が、発行されました。

當山もその末席に加えていただきましたが、これを励みとして今後も精進したいと思っております。檀信徒の皆様には引き続き、宜しくお願い申し上げます。



客殿でご覧になれます